

2日目朝食

宿泊研修2日目の朝を迎えました。

朝から元気な生徒が多く、身支度や朝食の準備にも、時間を意識しながらテキパキと行動する姿が見られました。短い時間ではありましたが、しっかりと朝食をとり、今日の活動に向けてエネルギーを蓄える時間となりました。

また、部屋を退出する準備では、仲間と声をかけ合いながら毛布を畳んだり、掃除をしたりするなど、互いに協力する様子が見られました。宿泊を通して、少しずつ集団生活にも慣れ、自分たちで考えて動く姿が増えました。



学年目標決めのための話し合い③

2日目も、前日に引き続き学年目標について話し合いました。しかし今回は、前日の続きをそのまま行うのではなく、「そもそも学年目標は何のためにつくるのか」という根本的な問いに立ち返るところからスタートしました。「将来像を無理に一つに統一する必要はないのではないか」「学年目標は、つくる過程そのものにも意味がある」「学年目標には、みんなの思いが込められている」こうしたテーマについて、全体で意見を交流しながら考えを深めていきました。仲間の意見を受け止めながら、自分たちの学年について真剣に考える姿が多く見られ、これからの学校生活につながる大切な時間となりました。

その後は、「学年目標を一つに絞る必要があるのか」という点について、さらに活発な議論が行われました。「一つの目標を共有することで結束力が高まる」という意見がある一方で、「個々がそれぞれの目標をもっていてもよいのではないか」という考えも出されました。さまざまな立場から意見が交わされる中、最後には「学年目標は、卒業というゴールに向かうための道しるべや材料になるものではないか」という考えに、多くの生徒が共感していました。この2日間の中でも特に活発な議論が行われ、根本に立ち戻りながら、本質的な問いについて一人一人が熱く語る姿が見られました。非常に充実した時間となりました。



野外炊飯・BBQ

野外炊飯では、班ごとに協力しながらバーベキューを行いました。火起こしや食材の準備に苦戦する場面もありましたが、「次、何する？」「私がやるよ」と自然に声を掛け合いながら活動する姿が多く見られました。自分たちで作った料理を仲間と一緒に食べる時間は格別だったようで、たくさんの笑顔があふれていました。



また、準備や後片付けが非常にスムーズに進んだため、予定よりも早く食事を終えることができ、自由時間が生まれました。30分ほどの自由時間では、広場で「だるまさんが転んだ」や追いかけっこをして元気に遊ぶ姿が見られたほか、自然観察をしながら虫の生態を熱心に見つめる生徒や、友達と座ってゆっくり会話を楽しむ生徒の姿もありました。それぞれが思い思いの時間を過ごしながら、仲間との時間や自然の中で過ごす最後のひとときを楽しむことができました。



退所の集い

退所の集いでは、お世話になった自然の家の方へ感謝の気持ちを伝えました。二日間の活動を通して、子供たちは多くの経験を積み、一回り成長した様子が感じられました。この二日間、子供たちは仲間と協力しながら、さまざまな活動に主体的に取り組みました。楽しいことだけでなく、思い通りにいかないことも経験しながら、一人一人が学びを深めることができた宿泊研修となりました。今回の経験を、これからの学校生活にも生かして欲しいと思います。

